

みづかな 話だいに ついて 話し合う こと

名劇

かぐつきの山

ポイント

○会話の ながれを 考えて、正しく 話す ことが できる  
ように しましょう。

ドリル

1 あやこさんが ろうかで たんにんの 先生と 話して  
います。(1)・(2)に 合う ことばを 一つず  
つ えらび、①から ③の 番こうを 書きなさい。

あやこさん こんにちは。

先生 こんにちは。

あやこさん 先生、今日の 国語の 時間に 読んだ お  
話は、( 1 )。

先生 あら、そう。それは よかったわ。先生も  
大すきな お話なのよ。

あやこさん 本当ですか。うれしいです。

先生 先生ですよ。これから、楽しい お話を  
たくさん 読んで いきましようね。

あやこさん わかりました。( 2 )。

1 ① すごく おもしろいと 思ったよ  
② とても おもしろいと 思いました  
③ あんまり おもしろく なかったよ

2 ① 楽しみに して います  
② もう 二どと しません  
③ これからは 気を つけます

2 ひろしくんが じゅぎょう中<sup>ちゅう</sup>に 先生<sup>せんせい</sup>に あてられて、  
 答<sup>こた</sup>える ばめんです。(1)・(2)に 合<sup>あ</sup>う こと  
 ばを、あとから 一つずつ えらび、①から ③の 番<sup>ばん</sup>ご  
 うを 書<sup>か</sup>きなさい。

先生 この もんだいの 答<sup>こた</sup>えが わかる 人<sup>ひと</sup>。

ひろしくん はい。

先生 あら、元<sup>げん</sup>氣<sup>き</sup>が いいわね。では、ひろしくん。  
 答<sup>こた</sup>えは なんですか。

ひろしくん ( 1 )。

先生 はい、よく こたえられました。でも、本<sup>ほん</sup>当<sup>どう</sup>  
 に その 答<sup>こた</sup>えで いいかしら。もっとよ  
 く 考<sup>かん</sup>えて みて。うさぎさんは、おおきな  
 くまさんと であって、おそろしくて ない  
 て しまったのよ。

ひろしくん そうでした。それなら、( 2 )。

先生 はい、その とおり。よく できました。

- ① 答<sup>こた</sup>えは「たのしい きもち」です
- ② 答<sup>こた</sup>えは「こわい きもち」です
- ③ 答<sup>こた</sup>えは わかりません

|   |   |
|---|---|
| 2 | 1 |
|---|---|

みづかな 話だいに ついて 話し合っ べと

ドリル

かいとう

ヒント

1

2 1  
① ②

1

1 「おもしろかった」という内  
ようを、ていねいに言っ  
る ことばを えらびます。

2 「楽しみだ」という内  
ことばを、ていねいに言います。

2

2 1  
② ①

2

1 先生が「あらら、本  
答えでいいかしら」と言っ  
いるので、「ひろしくん」は、ま  
がった 答えを言っているこ  
とが わかります。

2 先生が「はい、その  
と 言っている ことから、「ひ  
ろしくん」は、正  
っている ことが わかります。  
うさぎさんが「ないて しまった」  
という ところから 考えましょ  
う。